

多様性活力発揮に向けての女性研究者支援

(実施期間：平成 22～24 年度)

実施機関：岐阜大学（総括責任者：森 秀樹）

プロジェクトの概要

(1) 女性研究者のための具体的な取組

「在職教職員の意識改革」、「女性研究者育成」、「女性研究者支援」および「人的資源循環支援」を 4 本柱とし、男女共同参画推進室が中心となり以下の事業を推進する。

- 1) 意識改革： 男女共同参画計画の制定、啓発セミナーの実施、女性教員採用数値目標の制定
- 2) 女性研究者育成： 女性キャリアガイダンスの実施、女性教員によるロールモデル提示、女性研究者と女子学生の交流拠点「カモミール・カフェ」運用、小中高等学校での女子学生出前講義（「サイエンス夢追い人」の育成）の実施
- 3) 女性研究者支援： 休職時等における研究支援者配置、メンター制度実施、女性休憩室整備、保育園充実、職務上可能な場合のテレワークシステムの運用
- 4) 人的資源循環を目指し、岐阜県・岐阜労働局・NPO・女性科学者の会・岐阜県医師会等と協働で、女性研究者人財バンク充実、研究中断者の再チャレンジ支援を行う。

(2) 期待される効果

上記支援策により、女性研究者数、女性リーダーを増やすとともに、大学および地域の活性化が達成される。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	システム改革	実施体制	実施期間終了後における取組の継続性・発展性
A	a	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

女性研究者のニーズに沿った広範な取組が着実に進められ、環境整備や次世代育成の推進に繋がった。さらに、女性限定教員公募等の実施により任期を付さないテニユア職による女性教員の採用を積極的に進め、女性教員在籍比率の所期の目標を達成したことが評価できる。今後は工学系や上位職階の女性教員の増加を期待する。

- ・ **目標達成度**：女性教員比率の増加、女性研究者離職率の低減等、所期の目標を概ね達成しており評価できる。今後は、女子学生奨学金制度の効率的な活用による大学院博士後期課程の女子

進学率の向上を期待する。

- **取組**：全教職員を対象とする意識調査を毎年度実施し常にニーズの把握に努め、効果的な取組を優先するとともに、外部評価を踏まえ取組の充実に向けた対応策を講じたことが評価できる。さらに、男女共同参画支援コンシェルジュによるオンデマンド型女性研究者支援等、波及効果の高い特徴的な取組も実施された。
- **システム改革**：女性教員の採用促進のため、女性限定公募の実施や工学部における学部長裁量ポイントの導入など積極的なシステム改革に取り組んでいる。さらに、部局毎に女性教員比率の数値目標を設定し、その実現に向けた取組を実施するシステムを構築しており評価できる。
- **実施体制**：学長を議長とする多様性人財活用推進会議と女性副学長を室長とする男女共同参画推進室が効率的に連携する全学的な事業推進体制を整備したことが評価できる。
- **実施期間終了後における取組の継続性・発展性**：十分な予算措置を行い、本事業で実施したすべての取組を継続して実施しており評価できる。今後は、取組のさらなる発展を期待する。